

伝統の提灯行列練り出す

延岡高同窓会 創立120周年を祝う

延岡高校伝統の「提灯（ちようちん）行列」は12

日にあり、在校生や卒業生ら約千人が提灯を手に、延岡市内を練り歩いて、母校の創立120周年を祝った。

同校グラウンドで行われた出発式で、延岡高等学校同窓会の池上武博会長は「提灯行列を行っているのは県下高校では延岡高校のみ。伝統の灯（ひ）をともし続けていければとあいさつ。同校応援団OBによるエールの後、参加者は120周年記念タオルを首にかけ、提灯を掲げて恒富小学校

（愛宕町）までの約2.2キロを歩いた。

最後は旧制延岡中学校、延岡高等女学校、延岡恒富高校、現延岡高校の校歌斉唱と万歳三唱で締



写真はいずれも提灯を手に延岡高校を出発する参加者

めくくり。延岡高20回生の楠千恵子さん（69）＝三ツ瀬町＝は「懐かしい顔が集まる同窓会でもあり、楽しかった」と笑顔。ほかの参加者と10年後の再会を約束していた。

延岡高校は1899年、県立延岡中学校（旧制延中）として開校。当時は【おこわり】連載中の「青空のもとへ」は休みます。

創立記念日の5月25日に運動会を開き、その夜に提灯行列を行っていた。1936年まで続いていたん途絶えたものの、創立60周年時に復活。80周年以降は10年の節目ごとに実施している。（後日、写真特集を掲載します）

体験交流
プログラム

えんぱくスタート

延岡市

10/12
11月24日まで、40プログラム



ホビーラジコン体験の誘い人を務める
島崎一さん(右)と成司さん

延岡市内を中心とした東北各地で体験交流プログラムを提供する秋の博覧会「えんぱく」がきょうから始まった。11月24日までの間、東北9市町村で自然、食、美、匠(たくみ)をテーマにした全40プログラムが実施される。えんぱくは2010年から始まり、今年が10年の節目の年。提供者「誘い人」が、体験活動などを通じて地域の魅力を伝えている。

初日は、諸塚村の手漉(す)き和紙工房「もろつか わし すきや」で流し漉きを体験する。「世界にひとつだけの和紙を作ろう」が行われ、あすは延岡市差木野町で「ホビーラジコンを体験しよう」が予定されている。同市山下町のラジコンショップ「プランズホビー」の島崎一

の駅などで配布しており、ホームページでも閲覧できる。問い合わせは同商議所内の総合インフォメーション(☎延岡20・0008、平日午前10時〜午後5時)まで。

吉野さん受賞決定 各地で祝福

10/12

延岡市内や空港 懸垂幕、横断幕

旭化成名誉フェロー吉野彰さん(71)のノーベル化学賞受賞が発表されたことで、県内の各施設で祝福の懸垂幕、横断幕を掲げる動きが広がっている。吉野さんの所属する旭化成の延岡支社、延岡市の玄関口のエンクロス、宮崎市では宮崎ブルーゲンピア空港に吉野さんの受賞決定をたたえる横断幕が設置された。各施設とも当分の間、掲示を続ける予定という。

旭化成延岡支社(濱井 設置した。サイズは縦6
史(社長)は11日、正・8時、横1・2時。同
玄関側の外壁に吉野さ 支社は「受賞後、みなさ
の受賞を祝う懸垂幕を、まからたくさんのお祝い
延岡市は同日、ノーベ
の言葉をいただきありが
る。

ル化学賞受賞を祝う横断
幕を幸町の市駅前複合施
設エンクロスに設置し
た。横断幕は縦1時、横
4・7時。Made i
n Nobeokaの技
術でノーベル化学賞受
賞!」の文言を添えて喜
びを伝えている。
ほかに、駅構内のデジ

タルサイネージ(電子看
板)で受賞を祝う内容の
表示も始めた。
同日夕、第23回のべお
か天下一新能観覧のため
福島県いわき市から来
延、延岡駅に到着した
わき商工会議所の小林裕
明常務理事・事務局長
は、横断幕を見上げなが
ら「いわき市で吉野さん
の講演を聞いたことがあ
り、難しい内容をとても
分かりやすく説明して
くれた姿が印象に残って



旭化成延岡支社に掲示されている懸垂幕



宮崎ブルーゲンピア空港に掲示された懸垂幕



延岡市がエンクロスに設置した横断幕

2019. 10. 12